



クロス Pure Charge&Go AX 送信器 取扱説明書(保証書付)

このたびはクロス Pure Charge&Go AXをお買い求め頂き、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

■クロスPure Charge&Go AX 送信器(以下:送信器)の使用、性能についての注意事項

- クロスPure Charge&Go AX送信器を使用するCROS/BiCROSシステムは、補聴器の装用効果を期待できない一側性難聴の方のために設計されています。

送信器は2つのシステムにご利用できます。

- CROSシステム

一側の耳が殆ど聞こえない、もう一方の耳が正常な聴力または軽度の難聴の場合、聞こえない耳に装用した送信器が、その方向からの音を聞こえる耳に装用した補聴器に無線で送信し、音を届けます。

- BiCROSシステム

一側の耳が殆ど聞こえない、もう一方の耳が軽度以上の難聴の場合、聞こえない耳に装用した送信器が、その方向からの音を聞こえる耳に無線で送信し、補聴器が両側からの音を増幅して届けます。

クロスPure Charge&Go AX送信器は、当社指定の補聴器にて動作いたします。対応する補聴器についてはお求めの販売店にご確認ください。

△ 注意

この取扱説明書には、送信器について書かれています。補聴器の取扱については、補聴器の取扱説明書をご確認ください。

※この取扱説明書の内容は2022年2月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。

※本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。

目 次

■ ご使用前に	2ページ
■ 安全上のご注意(必ずお守りください。)	4ページ
■ 防水性能について	10ページ
■ 付属品の確認	12ページ
■ 各部の名称	13ページ
■ モールド・スリーブ・イヤチップの取扱い	15ページ
■ 装用の仕方	17ページ
■ 操作の仕方	21ページ
■ 充電の仕方	28ページ
■ 送信器の設定	30ページ
■ 故障かなと思われたときは	33ページ
■ お手入れの仕方	34ページ
■ 技術資料	37ページ
■ アフターサービスについて	38ページ
■ 保証規定	39ページ
■ 保証書	40ページ

安全上のご注意(必ずお守りください。)

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

△ 警告 : この表示がある項目は、「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

△ 注意 : この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

○ 禁止 : この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■より快適なご使用のための方法を説明しています。

(i) よりよく送信機を使用するためのアドバイスとヒントです。

形式やオプションによって異なる機能を示します。

お求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるようにご依頼ください。

△ 警告

■送信器は飲み込むと窒息の危険を伴います。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って送信器などを飲み込まないよう、周囲の人が常に注意してください。

ⓧ 禁止

■下記の項目に該当する場合は、送信器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の手術を受けたとき。
- 最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
- 耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかなとき。

■病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により送信器に悪影響を与える場合があります。係りの人に送信器をはずすかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、送信器をはずしてください。
- MRI検査のときは送信器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



禁止

- 送信器と対になる補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていないと効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。
- 送信器は完全防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。
- 送信器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしてください。
- 充電式リチウムイオン電池を分解しないでください。
- 充電式リチウムイオン電池は送信器から取外すことはできません。誤った使い方をすると爆発する危険があります。
- 送信器の修理や充電式リチウムイオン電池の交換はメーカーがおこなう必要があります。そのため下記の症状があるときはお求めの販売店から修理に出してください。
 - 充電式リチウムイオン電池の交換や送信器の修理をご自分でおこなわないでください。
 - 充電が完了しているにもかかわらず、送信器の性能が大幅に低下しているときは、送信器を使用しないでください。
 - 充電式リチウムイオン電池が破裂したときは、可燃物から遠ざけてください。

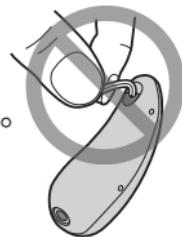
注意

- 送信器は、航空便で送付する際、特定の表示が必要になります。航空便ご利用になる際は、規制に従った表記をしてください。送信器を装用して飛行機をご利用になる際は、表示などは必要ありません。
- 必ず専用の充電器を使用してください。
- 動作条件を守ってください。
「動作、保管と輸送について」を参照(37ページ)してください。
- 下記の項目に該当する場合は、送信器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。
 - 耳漏が生じたとき。
 - 耳の治療が必要になったとき。
 - 耳鳴りが生じたとき。
 - 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
 - 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、痒み、湿疹が生じたりしたとき。
 - 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
 - 送信器の外観などに異常を感じたとき。
- CROS/BiCROSシステムは周囲の警告音(車のクラクション、踏切の警報音など)が聞こえにくくなることがあります。
- 引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、送信器を使用しないでください。

△ 注意

■ 取扱いはていねいに

- 送信器は精密機械です。落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが送信器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないよう注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧水、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取りはずしてください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 送信器を電子レンジの中に入れないでください。
- 送信器とミニレシーバの接続部を引っ張らないでください。



■ 送信器は高温や湿気をきらいです。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは送信器を必ずはずしてください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

■ もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったり……

- 水中に落としたときは、よく水を切り、陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、真水で洗った後、よく水を切り陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、乾燥ケースで乾燥させてください。

注意

■無線機器の利用が制限されている場所では、送信器の電源をお切りください。

■電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送所、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーターなどを使用しているところでは、補聴器から放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。送信器の故障ではありません。補聴器をどりはずすか、その場所から離れてください。

■携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては送信器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

■送信器がご不要になった場合

- ご不要になった送信器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。

■送信器を使用しないときは、
「お手入れの仕方」(34ページ)
「送信器の保管」(36ページ)

「保管と輸送について」(37ページ)を参照してください。

防水性能について

クロスPure Charge&Go AXの防塵防水保護等級はIP68です。これは「粉塵が中に入らない」「一時的に一定水圧の条件に水没しても影響がない(水深1mに1時間浸かっても、浸水がないことを確認。)」ことを意味します。

完全防水とは異なるので次の注意が必要です。

■保護等級に関わらず送信器を液体に浸したり、洗ったりすることを推奨するものではありません。

■送信器は、液体や湿気の多い状態にさらされることを前提として設計されてはおりません。

■完全防水(メンテナンスフリー)ではありません。

- 浸水状態や高温、低温、多湿の場所に放置しないでください。また使用しないでください。(お風呂・温泉、サウナ・ミストサウナ、スキー、岩盤浴、消防・調理・環境試験業務、ドライヤーで乾燥、冷蔵庫の中、コンロ・ストーブの脇など)
- 洗濯機、超音波洗浄機、薬剤(石鹼、洗剤など)で洗わないでください。
- 防水性能は紫外線や摩擦、薬剤などで経年劣化します。
- 化学薬品やその他の液体は付着させないでください。(日焼け止めローション、シェーブローション、整髪料、ヘアスプレー、育毛剤、化粧水、香水など)
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。マイクや音の出口などに砂が入り、音が小さくなったり歪んだりする原因となる恐れがあります。

- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい場所に送信器を持ち込むときは、送信器が常温になってから持ち込んでください。万一結露したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 落下させたり、強い衝撃を与えたいため、音の入口などを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる場合があります。
- ケースに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、販売店までご連絡ください。
- 送信器は水に浮きません。
- アクセサリは防水性能を有していません。水に濡れるような場所では、使用しないでください

付属品の確認

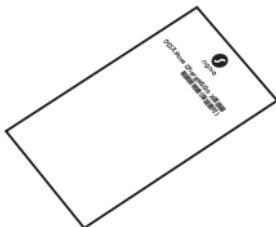
ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを□に☑をいれて確認してください

スリーブまたはイヤチップ【1個】



- ご注文時に選択されたタイプ、サイズになります。
- アクセサリで他のサイズもあります。
- イラストはスリーブです。

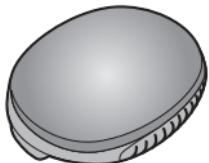
取扱説明書【1部】(本書)



補聴器早わかりガイド【1部】

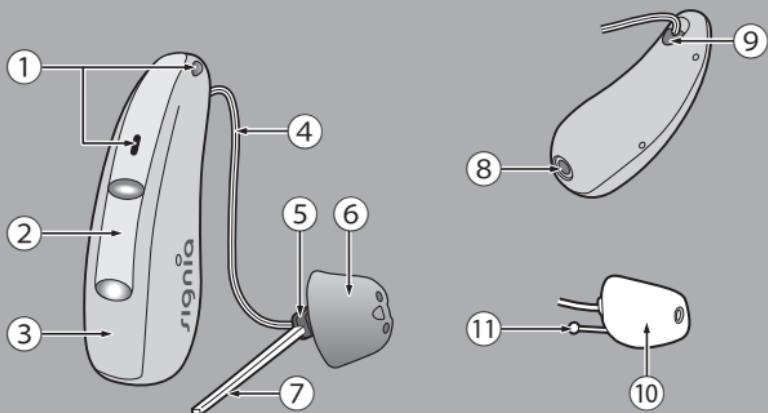


化粧ケース【1個】



付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

各部の名称



- ① 音の入口 ② ロッカースイッチ ③ ケース
④ 導線チューブ ⑤ レシーバー（外装イヤホン）
⑥ スリーブ / イヤチップ
⑦ ストッパー（コンチャロック）（別売） ⑧ 充電端子
⑨ 左右識別色（赤色=右耳用、青色=左耳用）
⑩ クリックモールド（別売）※
⑪ テグス
- ④ ⑤ をまとめて「レシーバー」と呼びます。
⑥ のイラストはスリーブです。
- ※形状や大きさは、耳の形状により異なります。

クリックドーム、レシーバーは送信器を耳に保持するためだけに用います。そのため送信器から音は出力されません。

送信器には Bluetooth 機能が搭載されています。飛行機などの Bluetooth の仕様が禁止されている場所では電源をお切りください。

■ロッカースイッチの動作

ロッカースイッチは、選択した機能によっての操作が異なります。

選択した機能を下記の表に記入してください。

(□にチェックを☑入れてください)



機能	左補聴器			右補聴器		
	①	②	④	①	②	④
プログラムの選択 (22ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
補聴器の音量調節 (24ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
送信器の音量調整※ (26ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
電源のON/OFF (21ページ参照)			<input checked="" type="checkbox"/>			<input checked="" type="checkbox"/>

※BiCROSシステム時のみ選択できます。

●ロッカースイッチの操作方法

①	ロッカースイッチを押してください。
②	ロッカースイッチを2秒間押してください。
④	ロッカースイッチを4秒間押してください。

- ① ロッカースイッチの機能を無効にすることもできます。
ロッカースイッチの機能を無効にしても、電源のON/OFFは動作します。

モールド・スリーブ・イヤチップの取扱い

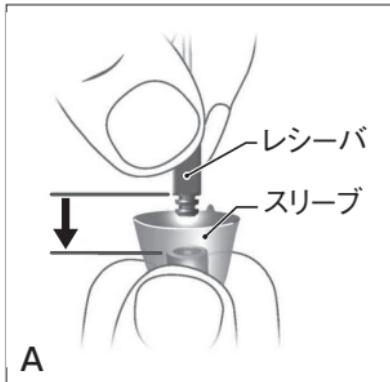
■クリックモールドの取付け/取外し方法

お求めの販売店にご依頼ください。

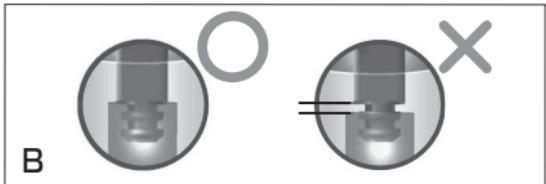
■スリーブ・イヤチップの取付け方法

(イラストはスリーブです)

- スリーブを指で支えてレシバをはめます。(図A)



- レシーバ先端部分が隠れれば完了です。(図B)



△注意

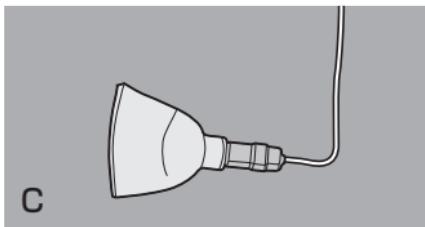
スリーブ・イヤチップは、レシーバの先端(ボール部)に完全にはめてください。

■スリーブ・イヤチップの取外し方法

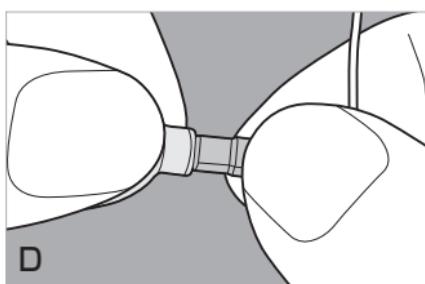
(イラストはスリーブです)

スリーブは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換することをお勧めします。耳垢詰まりで音質が低減したり、シリコン樹脂が劣化して部品が損傷したりすることを予防できます。

- ① スリーブを裏返しにします。
(図C)



- ② レシーバ部分を押さえてスリーブをレシーバから引き抜きます。(図D)



△注意

スリーブ・イヤチップを取り外す際は、必ずレシーバ部分を押さえてください。導線チューブなどを押さえてスリーブ・イヤチップを取り外そうとするとレシーバが破損する恐れがあります。

△注意

取り外したスリーブ・イヤチップは、再使用しないでください。耳の中でスリーブ・イヤチップが外れる恐れがあります。取付け/取外しが難しい場合は、お求めの販売店にご依頼ください。

装用の仕方

■装用前に

送信器は、左右があります。

送信器を装用する際は、左右を確認して装用してください。

- 赤色=右耳用送信器
- 赤色=左耳用送信器



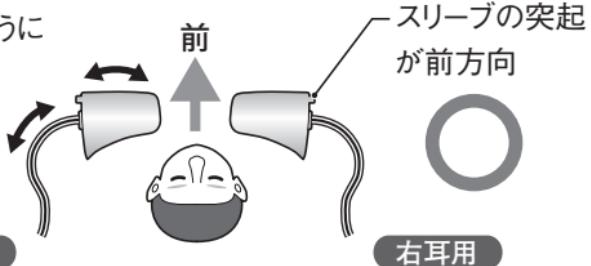
■スリーブの場合

スリーブは耳に入る前に向きを確認する必要があります。

スリーブは、送信器を装用したときにスリーブの突起が前の方に向きます。正しく取付けると下図のようにスリーブの曲がりが導線チューブの曲がりに沿うようになります。

【正しい位置】

スリーブは図のように
前方に膨らんだ
形になります。



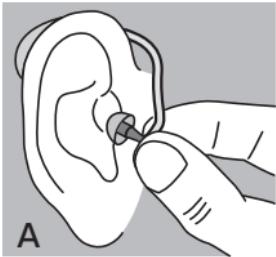
【誤った位置】

スリーブは図のように
前方が凹んだ
形になります

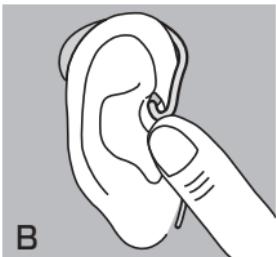


■送信器のつけ方

① スリーブまたは、イヤチップがゆるんでいないことを確認します。



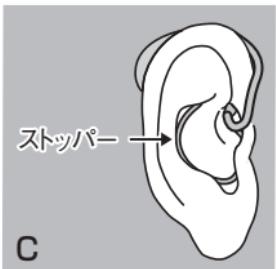
② 送信器を耳にかけます。



③ 図Aのようにレシーバのレシーバ部分を人差し指と親指でつかみ外耳道に挿入します。耳を後上方に引くと入れやすくなります。

④ レシーバのチューブの曲がり部分が耳と接するぐらいまで図Bを参考に人差し指で押し込んでください。

⑤ 図Cのようにストッパーを耳のくぼみに這わせてください。



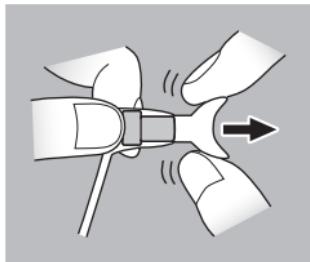
※ 耳の形状によりストッパーが耳のくぼみに入らない場合があります。その場合は、レシーバからストッパーを取り外してご使用ください。

△注意

レシーバの導線チューブをつまんで外耳道に挿入しようとするとレシーバが破損する恐れがあります。

△注意

- レシーバには必ずスリーブ・イヤチップまたは、クリックモールドを使用してください。
- スリーブ・イヤチップは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまい危険です。
- 送信器の装用前に必ずスリーブ・イヤチップを指でかるくしごいて簡単に外れないことを確認してください。(右図)
- レシーバにスリーブ・イヤチップ・クリックモールドを取付けずに耳の中に入れないでください。
- レシーバを外耳道の奥深くまで無理に入れることは避けてください。
- 他人のスリーブ・イヤチップ・クリックモールドは使用しないでください。
- スリーブ・イヤチップが耳の穴に合わない場合やハウリング音(ピーピー音)が起きる場合は、別売のクリックモールド(特注耳せん)の使用をお勧めします。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。



△注意

スリーブ・イヤチップの材質は、シリコン樹脂を使用しています。

万一、耳の穴の中にスリーブ・イヤチップが残ってしまった場合、耳の穴の奥深く押し込まないように注意して、耳鼻咽喉科医師または販売店にご相談ください。

■送信器の外し方

- ① レシーバのレシーバ部分を指でつまみます。
- ② レシーバをゆっくり外耳道から取出します。
- ③ 送信器を耳から外します。



△注意

レシーバの導線チューブをつまんで外耳道から取出そうとするとレシーバが破損する恐れがあります。

△注意

送信器を引っ張ってレシーバを外耳道から抜き出さないでください。

無理に抜き出すと外耳道を傷つけたり、送信器やレシーバを破損したりする可能性があります。



操作の仕方

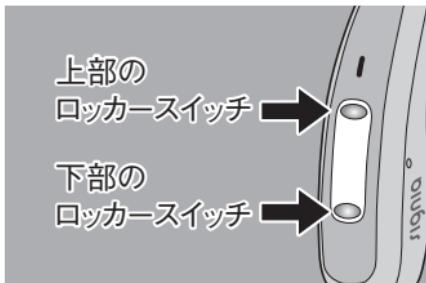
■電源の入れ方と切り方

(ご使用の機能に チェックを入れてください)

ロッカースイッチを利用して

電源を切る：

ロッカースイッチの上部または下部のスイッチを長押ししてください。送信器の電源が切れます。



電源を入れる：

ロッカースイッチの下部スイッチを長押ししてください。
送信器の電源が入ります。

充電器を使って

電源を入れる：充電器から送信器を取出してください。

電源を切る：充電器に送信器を置いてください。

(i) 充電器の電源が入っている必要があります。詳細は充電器の取扱説明書を参照にしてください。

■プログラム(聞こえ)の選択

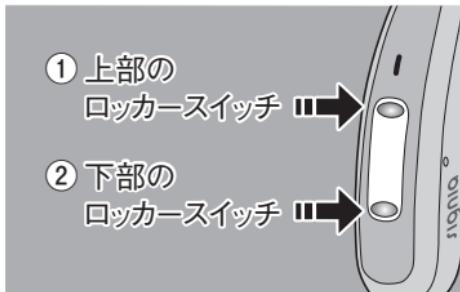
送信器で補聴器に設定されたプログラムを切り替えることができます。

□ ロッカースイッチを利用して

ロッカースイッチを押すと設定されたプログラムが順番に切り換わります。

- ①上部のロッカースイッチ
(1→2→3→……→1)

- ②下部のロッカースイッチ
(1→6→5→……→1)



- ① ロッカースイッチの上部または下部スイッチの長押し(4秒間)で送信器の電源が切れます。ロッカースイッチの下部スイッチを長押しすると電源が入ります。

- (i)**
- ロッカースイッチの機能を【プログラムの選択】として選択する必要があります。
 - 【プログラムの選択】スイッチとして選択した操作方法で機能が動作します。(14ページ参照)
 - ロッカースイッチを長押し(4秒間)すると補聴器の電源が切れます。再度長押しすると補聴器の電源が入りますが選択していたプログラムや調節していた音量は標準の状態になります。

【プログラムの選択】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

リモコン(別売)を利用して
リモコンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンアプリを利用して
弊社のスマートフォンアプリで補聴器のプログラムの選択を操作できます。

■ 音量の調節(ご使用の機能にチェックを入れてください)

送信器で補聴器の音量を調節することができます。

ロッカースイッチを利用して

ロッカースイッチの上部を押すと音量が大きくなり、下部を押すと音量が小さくなります。最も聞こえやすい音量に調節してください。



△ 注意

音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じたときは再調整が必要です。補聴器と送信器、充電器をお持ちになって、お求めの販売店にご依頼ください。

- ① ロッカースイッチの上部または下部スイッチの長押し(4秒間)で送信器の電源が切れます。ロッカースイッチの下部スイッチを長押しすると電源が入ります。

- (i)**
- ロッカースイッチの機能を【音量の調節】として選択する必要があります。
 - 【音量の調節】スイッチとして選択した操作方法で機能が動作します。(14ページ参照)
 - ロッカースイッチを長押し(4秒間)すると補聴器の電源が切れます。再度長押しすると補聴器の電源が入りますが選択していたプログラムや調節していた音量は標準の状態になります。
- 【音量の調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

リモコン(別売)を利用して
リモコンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンアプリを利用して
弊社のスマートフォンアプリで補聴器の音量を調節することができます。

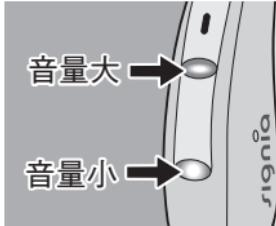
■送信器の音量の調節(BiCROSシステム時のみ)

(ご使用の機能にチェック を入れてください)

BiCROSシステム時に送信器側の音量を調節することができます。

ロッカースイッチを利用して

ロッカースイッチの上部を押すと音量が大きくなり、下部を押すと音量が小さくなります。最も聞こえやすい音量に調節してください。



△ 注意

音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じるとときは再調整が必要です。補聴器と送信器、充電器をお持ちになって、お求めの販売店にご依頼ください。

- ① ロッカースイッチの上部または下部スイッチの長押し(4秒間)で送信器の電源が切れます。ロッカースイッチの下部スイッチを長押しすると電源が入ります。



- BiCROSシステムとして使用する場合のみ調節できます。
- ロッカースイッチの機能を【送信器の音量調節】として選択する必要があります。(14ページ参照)
- ロッカースイッチを長押し(4秒間)すると補聴器の電源が切れます。再度長押しすると補聴器の電源が入りますが選択したプログラムや音量は標準の状態になります。

【送信器の音量調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

スマートフォンアプリを利用して

弊社のスマートフォンアプリで補聴器の音量を調節することができます。

充電の仕方

■送信器の充電は専用の充電ケースをご使用ください。充電方法は充電ケースの取扱説明書をご覧ください。

■充電ケースの蓋をあけ、補聴器の左右を確認して置きます。(下図)詳しくは充電ケースの取扱説明書を参照してください。



イラストはポータブル充電ケースです。

※ストッパー(コンチャロック)やクリックモールドを使用していると補聴器や送信器が充電ケースに入らないことがあります。そのような時は、ストッパー(コンチャロック)やクリックモールドを取り外してください。

■充電池の残量が消耗したとき

- 充電池の残量が低下してくると対になっている補聴器の設定と同じ間隔で音を出してお知らせします。お知らせ音が鳴り始めてから、送信器と補聴器の設定、使用方法によりますが1~2時間で補聴器は動作を停止します。なるべく早く補聴器を充電してください。(補聴器の電池容量のお知らせ音を有効にする必要があります。)
- 音が聞こえなくなった後、一旦電源を切ってから入れなおすと、再び聞こえることがありますが、長くはご使用になれません。



- 使用する周囲の環境(低温・乾燥・多湿)、補聴器・送信機の設定によって、お知らせ音が聞こえるまでの時間は異なります。
- 送信器を補聴器と同じ時間、使用していてもお知らせ音が鳴り始めるまでの時間は、補聴器と異なります。
- 送信器と補聴器のお知らせ音は異なります。

△注意

補聴器の調整によっては、お知らせ音が十分に聞こえない場合があります。

送信機の設定

お求めの販売店で、送信器の仕様や送信器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。
(□にチェックを☑入れてください)

お知らせ音

電池消耗時の警告※

有効

無効

※ 補聴器の「電池消耗時の警告」を有効にする必要があります。

補聴器の「電池消耗時のお知らせ音の間隔」と同じ間隔でお知らせ音が鳴ります。

■お求めの販売店に、ご使用中のイヤチップ・スリーブにチェックを入れてもらってください。(□にチェック☑を入れてください)

イヤチップ3.0

イヤチップ3.0 5mm
(オープン)



イヤチップ3.0 7mm
(オープン)

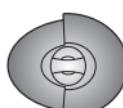


イヤチップ3.0 12mm
(オープン)



イヤチップ3.0 8mm
(チューリップ)

イヤチップ3.0 12mm
(チューリップ)



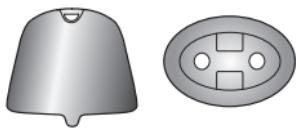
スリーブ3.0

<input type="checkbox"/> スリーブ3.0 XS (Vented)	<input type="checkbox"/> スリーブ3.0 S (Vented)
 	 
<input type="checkbox"/> スリーブ3.0 XS (Closed)	<input type="checkbox"/> スリーブ3.0 S (Closed)
 	 
<input type="checkbox"/> スリーブ3.0 XS (Power)	<input type="checkbox"/> スリーブ3.0 S (Power)
 	 

スリーブ3.0

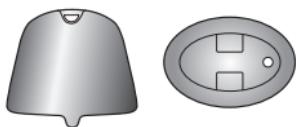
スリーブ3.0 M
(Vented)

スリーブ3.0 L
(Vented)



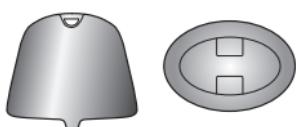
スリーブ3.0 M
(Closed)

スリーブ3.0 L
(Closed)



スリーブ3.0 M
(Power)

スリーブ3.0 L
(Power)



故障かなと思われたときは

送信器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。

1 充電池が消耗していませんか？

はい

送信器を充電してください。
(28ページ参照)



2 送信機や補聴器が汗や水分で濡れましたか？

はい

送信器と補聴器を乾燥させてください。
(34ページ参照)



3 スリーブ・イヤチップが汚れていませんか？

はい

交換もしくは掃除してください。
(15・16・35ページ参照)



4 スリーブ・イヤチップが正しく耳に入っていますか？

いいえ

正しく耳に入れ直してください。
(17・18ページ参照)

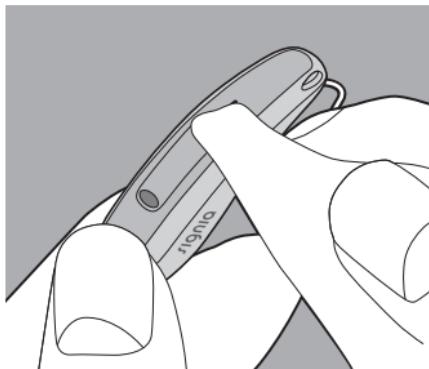


お求めの販売店に修理をご依頼ください。

お手入れの仕方

- 送信器は常に清潔にしておいてください。

- 送信器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



△注意

- 送信器を水で洗ったり、水に浸したりしないでください。
- お手入れ中に、送信器に強い力を加えないでください。

- 送信器のご使用後は、送信器を乾いた布で拭いてください。(特に梅雨、夏場は水分や汗が送信器の中に入りやすくなります。)

送信器を乾燥ケースの中
にいれたら、蓋をしっかりと
閉めてください。蓋が閉まっ
ていないと乾燥効果を十
分に得られません。



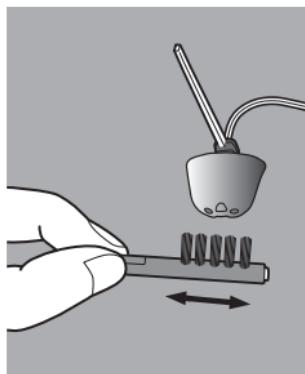
● 乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。
その場合、新しい詰め替え用に交換してください。
湿気の状況にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。(梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。)

- スリーブ・イヤチップ・クリックモールド(別売)は常に清潔に保ちましょう。クリックモールドのクリーニングにはクリーニングシート・クリーニングタブレット(別売)をご使用になるとたいへん便利です。
- 毎日ご使用後汚れをクリーニングするようお勧めします。

■掃除の仕方

補聴器に付属しているブラシをお使いください。

耳垢が中に入らないようにブラシを上向き、レシーバを下向きにして掃除します。
スリーブ・イヤチップをご使用の場合は、
掃除が終わったら必ずスリーブ・イヤチップの取付けを確認してください。
もし緩んでいたら取外して、新品に交換してください。



図はスリーブです

△注意

スリーブ・イヤチップは消耗品です。取外したスリーブ・イヤチップは決して再利用しないで捨ててください。

■送信器の保管

- 短期間の保管(1週間程度)

充電器のロッカースイッチを長押しするか、充電器に送信器を置いてください。

△注意

充電器の電源が入っている必要があります。電源が入っていないと、送信器を充電器に置いても送信器の電源が切れません。

- 長期間の保管(月単位)

最初に送信器を完全に充電してください。充電が完了したら送信器のロッカースイッチを長押しして電源をお切りください。

送信器を保管する際は、乾燥ケースなどを使用することをお勧めします。

△注意

充電池の過放電を避けるため、仮に送信器をご使用なさらなくとも満充電にしてから、少なくとも6ヶ月以内に送信器を再充電してください。充電池が過放電の状態になると充電することができなくなり、充電池を交換することになります。

保管条件は、「技術資料」を参照(37ページ)してください。

技術資料

■動作、保管と輸送について

送信器をご使用する際は下記の条件を確認してください。

	動作中	充電中
温度	0~50°C	10~35°C
湿度	5~93%	5~93%

長期間の輸送と保管には下記の条件を確認してください。

保管する際は、送信器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

	保管	輸送
温度	10~40°C	-20~60°C
湿度	10~80%	5~90%

■技術基準適合証明

形式：クロスPure Charge&Go AX

  202-LSG009

分解、改造すると電波法に抵触する恐れがあります。

● 充電時間について

急速充電30分で約6時間、通常フル充電4時間で約28時間ご使用になります。

(使用時間は、送信器の設定などにより変わります。)

アフターサービスについて

- **保証書(40ページ)**

保証書には必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。

- **保証期間中、修理依頼されるとき**

恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。

保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有償修理になります。

HPモールド・クリックモールドの再作保証は製造日より120日です。

- **保証期間経過後の修理について**

お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償で修理いたします。

- **部品の保有期間**

この補聴器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。(部品の供給状況により、短くなる場合がございます。)

- **その他のお問い合わせは……**

アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。

保証規定

1. 取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上の販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と保証書をご準備のうえ、お買上の販売店にご依頼ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
 - (ロ) 水没、落下等、お客様の過失による故障、および損傷。
 - (ハ) 犬やその他の動物が噛んだことによる、故障および損傷。
 - (二) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (ホ) 保証書の提示がない場合。
 - (ヘ) 保証書にお買上日、製造番号、お客様名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
 - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する(電源の異常電圧等による)場合。
 - (チ) 付属・消耗部品(レシーバ・スリーブなど)。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

※ お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

保証書

品名	クロス Pure Charge&Go AX 送信機
製造番号	
お買上日	年 月 日
保証期間	お買上日より1年間
保証対象	クロス Pure Charge&Go AX 送信機 本体
お客様名	様
販売店	店名・住所 店舗様控えが必要な際はお手数ですが、コピーをお願いいたします。

製造販売業者：シバントス株式会社
住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル 6F
TEL 0800-888-0303 FAX 0800-888-4133
※フリーコールにつながらない場合は、下記番号まで
お問合せください。
TEL 046-289-0303 FAX 046-407-1133

